

国際会計政策大学院プログラム

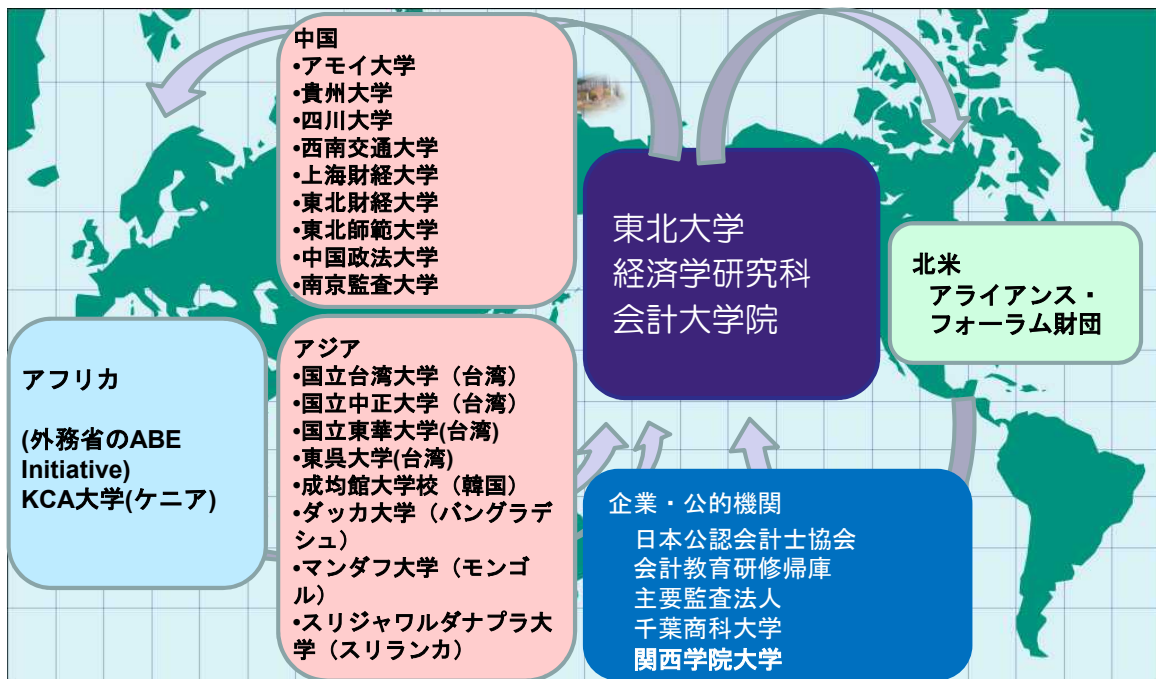
東北大学 経済学研究科教授
高田 敏文

平成27年 2月 5日

1/10

国際会計政策大学院プログラム

本プログラム「国際会計政策大学院」は、国内外の大学・パートナー機関が
連合・連携して、修士学位課程を共同運営するものであり、途上国やその
地域経済社会が直面する、会計・財務・政策にかかる諸問題の解決をリー
ドする会計政策プロフェッショナルを養成することを目的とする。

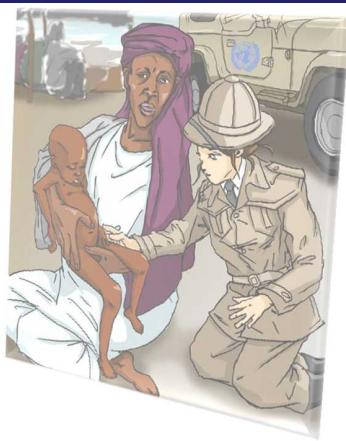


2/10

会計政策プロフェッショナルとは

会計政策プロフェッショナル:

高度専門知識と人的ネットワークを駆使して、アジア・アフリカ諸国とその社会で発生する経済財政上の諸問題を解明し、その解決策を会計専門家の立場から提案・実行し、当該諸国における会計と財務制度を形成し、その結果として、最適な社会制度形成を主導する能力と意欲を備えた傑出した人材です。



eg.

1. 監査法人においてアジア・アフリカ諸国担当の責任者として業務に携わる公認会計士
2. アジア・アフリカ諸国において会計・財務・公共政策に携わる政府職員
3. 高度な会計・財務・公共政策の知識をもった企業や非営利組織の管理者
4. 会計事務所や企業の会計士、会計担当者
5. 大学や研究機関における研究者

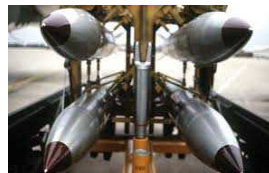
会計・財務分野の卓越した専門職業人と専門家の必要性

(1) グローバル・レベルの問題

人類社会の存立を脅かす

グローバル・イシュー の発生と深刻化:

国際経済・財政危機、経済的格差、貧困、飢餓、人権抑圧、兵器の集積・拡散、戦争・民族紛争・テロ、知識・情報の不均等な普及やインターネット犯罪、地球環境破壊、資源・エネルギー問題、大規模自然災害、新型感染症 など



(2) 日本が身近にかかえるグローバル・イシュー

大規模自然災害からの復興、高齢化社会、社会保障・医療制度改革、TPP参加と地域産業の発展・保護、企業活動のグローバル化、原発とエネルギー、隣国との緊張関係、急速な高度情報化に伴う社会的紛争など



会計・財務にかかる政策の教育を通して、グローバル・イシュー解決のための政策立案能力の高い人材の養成が強く求められている

会計政策プロフェッショナルが備えるべき条件

複数の深い専門的知識＋総合的構想力
理論的洞察力＋実務能力・社会的責任意識
国境を越える発想・コミュニケーション能力・人的ネットワーク

従来型修士課程の特徴：

狭い専門領域に集中・研究者養成に主眼・国際連携体制が未整備

会計政策プロフェッショナルの養成という目標に到達するためには、従来型の修士課程に代わる、全く新たな教育プログラムの開発が必要

5/10

体系的な教育科目

会計制度設計

中小企業金融

現代公共政策

海外パートナー機関との共同運営体制

ダブルディグリー・プログラム
MA学生との交換留学（1年ないし1ターム）
国際共同短期プログラム（サマースクール、スプリングスクール、途上地域ワークショップ）
海外パートナー機関教員による授業
海外パートナー機関教員の運営参画

4つのリテラシー科目

日本語、英語、多文化共生、
英語論文作成指導

PPPI（Public Private Partnership Initiative）による実務研修

フィールドスタディー
（国内外のインターンシップ、フィールドワークなど）

6/10

体系的な教育科目

会計制度設計サブジェクト (教室授業、インターネット)

日本の会計制度設計
 財務会計
 法人税法と税務会計
 管理会計
 アジアの会計制度
 修士論文とリサーチペーパーのための演習

中小企業金融サブジェクト (教室授業、インターネット)

中小企業金融の変遷
 スコアリングモデル
 キャッシュフロー管理とコーポレートファイナンス
 運営管理と情報システム
 中小企業の組織と人事管理
 修士論文とリサーチペーパーのための演習

現代公共政策サブジェクト (教室授業、インターネット)

グローバル・ポリティクス
 環境問題と持続可能な発展
 グローバル・ヘルス
 科学技術と人間
 公共政策形成過程
 修士論文とリサーチペーパーのための演習

学生の受け入れから修了までの流れ：全体の概要

専門職修士学位授与

審査

ダブルディグリー授与

両大学の指導教員からなる合同審査

リサーチ・ペーパー

英語の修士論文提出（本学と海外パートナー機関へ）

2年次

英文のリサーチペーパーあるいは修士論文の提出

1年次

3つのサブジェクト(英語で行う)の履修

- (i) 会計制度設計、
- (ii) 中小企業金融、
- (iii) 現代公共政策

リテラシー科目(英語で行う)の履修

8・9月と2・3月 PPPIが提供するフィールド・スタディーを实践

留学生は日本国内でのインターンシップ

日本人学生は海外での研修

入学予定者 30名

本学と国内外パートナー機関の指導教員の共同指導

国内外パートナー機関

- 政府機関
- 海外連携大学
- 途上国支援公益法人
- 日本公認会計士協会と監査法人
- 連合大学院参加専門職大学院

ダブルディグリー取得の方法

修士のダブルディグリーの授与

修士論文国際共同審査：Defence（英語による公開の口述試験）

修士論文を両大学に提出

学位論文提出資格審査試験(Qualifying Exams)：英語による小論文試験

経済学研究科



本学と海外パートナー機
関の指導教員の共同指導

学生は両大学博士課程に
学籍を置く



海外パートナー機関

- アモイ大学 (中国)
- 貴州大学 (中国)
- 四川大学 (中国)
- 西南交通大学 (中国)
- 上海財経大学 (中国)
- 東北財経大学 (中国)
- 東北師範大学 (中国)
- 中国政法大学 (中国)
- 南京監査大学 (中国)
- 国立台湾大学 (台湾)
- 国立中正大学 (台湾)
- 国立東華大学 (台湾)
- 東呉大学 (台湾)
- 成均館大学校 (韓国)
- ダッカ大学(バングラデシュ)
- マンダフ大学(モンゴル)
- スリジャワルダナプラ大学(スリランカ)
- KCA大学 (ケニア)

パートナー大学



ダッカ大学 (副学長)



マンダフ大学 (学長)



スリジャワルダナプラ大学



曲晓辉 (厦門大学)



蔡 揚宗名誉教授 (国立台湾大学)